学校番号	1008

令和５年度　国語科

教科	国語	科目	現代文Ｂ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	標準現代文Ｂ　改訂版（第一学習社）						
副教材等	「常用漢字ダブルクリア四訂版」（尚文出版） 「新総合図説国」（東京書籍）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・多くの語彙を身につけることで、豊かな表現ができるようになろう。
・さまざまな作品を読む中で、自分以外の人のものの見方や考え方に触れ、自分の考えを深めよう。
・ノートや提出物をきちんと仕上げ、期限を守って提出できるようにしよう。
・細切れの単語ではなく、まとまった自分の考えを正確に人に伝えられるように、あらゆる機会を利用して話す練習をしよう。
・課題に真剣に取り組み、考査に向けて計画的に学習を進めよう。

2　学習の到達目標

・幅広いジャンルの文章にふれ、語彙力を身につける。
・論理的な文章を読み込んで、文意を正確につかむ力を養う。
・自分の考えをまとめ、的確に他者に伝える力を養う。
・読書によって国語力の向上を図り、人生を豊かにする態度を身につける。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

評価の観点	a:関心・意欲態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e：知識・理解
評価の内容	国語で理解し表現する力を進んで高めるとともに，国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	目的や場に応じて効果的に話したり的確に聞き取ったりして，自分の考えを深め，発展させている。	必要な情報を用い，相手や目的，課題に応じた適切な表現による文章を書き，自分の考えを深め，発展させている。	近代以降の文章を的確に読み取ったり，目的に応じて幅広く読んだりして，自分の考えを深め，発展させている。	言語文化及び言葉の特徴やきまりなどについての理解を深め，知識を身に付けている。
評価の方法	・授業観察 ・発問評価 ・小テスト ・各種課題 ・定期考査	・授業観察 ・指名音読 ・発問評価	・各種課題 ・定期考査	・授業観察 ・発問評価 ・各種課題 ・定期考査	・発問評価 ・小テスト ・各種課題 ・定期考査
	上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめる。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価する。				

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1学期	世界を見つめる	・食と想像力	○			◎	○	a:復習プリントに積極的に取り組んでいる。 d: 論理の展開を正確に読み取り，筆者の主張や意見を理解している。 e:難解な語句の意味や用法を的確に理解している。	行動の観察と確認 小テスト及び定期考査
	小説を読む(一)	・ひよこの眼	○			◎	○	a:復習プリントに積極的に取り組んでいる。 d:登場人物の感情を的確に読み取る。文章の内容を展開に即して的確に理解する。 e:語句の意味や用法を理解する。	行動の観察と確認 小テスト及び定期考査
	新しい視点	・記憶のゆがみ	○	◎	◎			a:復習プリントに積極的に取り組んでいる。 b: 自分の意見を正確に発信している。 c:「記憶」に関する意見を的確にまとめ、自分の考えを文章にまとめられる。	行動の観察と確認 小テスト及び定期考査
	小説を読む(三)	・山椒魚	○			◎	○	a:復習プリントに積極的に取り組んでいる。 d:登場人物の感情を的確に読み取る。文章の内容を展開に即して的確に理解する。 e:語句の意味や用法を理解する。	行動の観察と確認 小テスト及び定期考査
2学期	小説を読む(三)	・山月記	○			◎	◎	a:復習プリントに積極的に取り組んでいる。 d:登場人物の心理変化を理解している。 e:中国の「人虎伝」と比較しながら、作品のテーマについて考えを深める。	行動の観察と確認 小テスト及び定期考査

	生への思索	・鏡としての他者	○			◎	◎	a:内容を構成や展開に即して的確にとらえる。 d:他者を「鏡」として、我々の生活を振り返り、どう生きていくべきかを考える。 e:抽象的な概念を示す語句を理解している。	行動の観察と確認 小テスト及び定期考査
	詩を味わう	・こころ	○			◎	○	a:復習プリントに積極的に取り組んでいる。 d:萩原朔太郎について調べ、彼の人生についてよく知る。 e:言葉の意味や響きを感じる。	行動の観察と確認 小テスト及び定期考査
3学期	評論を読む(二)	・経験の教えについて	○			◎	○	a:復習プリントに積極的に取り組んでいる。 d:自らの過去とこれからについて思いをはせ、文章の内容を展開に即して的確に理解する。 e:語句の意味や用法を理解する。	行動の観察と確認 小テスト及び定期考査

※　表中の観点について　　a:関心・意欲・態度　　b:話す・聞く能力　　c:書く能力
d:読む能力　　e：知識・理解

※　評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。